



ほんものを たべよう

Alter Weekly Order Catalogue

2021.8月2週号

提出日	8/ 3	火	水	木	金
配達日	8/ 10	火	水	木	金
翌々週分配達日	8/ 17	火	水	木	金

オルターの提案

本当に安全な食べものを手渡すために

- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
- 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
- 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
- プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

健康応援グッズ

コリを和らげる 刺さない鍼(はり)プチバン

安心、簡単、即効性

和光電研(株)

文責 西川 榮郎(安全な食べものネットワーク オルター 代表)



※画像は実寸です



和光電研(株)の林 隆一 会長

くさび形のステンレス粒

大阪府八尾市にある和光電研(株)は、素人でも簡単に扱え、コリなどに即効性のある刺さない鍼(はり)プチバンを開発しています。

その構造は指圧力 5 kg/cm²になるよう設計されたステンレス製(耐金属アレルギー性、錆びにくく肌に優しいSUS304ステンレス)の小さなくさび形の粒を、テープ(通気性が良く、かぶれやかゆみが少ない、肌にやさしいソフトタイプ)の上につけたもので、これを肌の上のツボなどに貼るだけです。

血行をよくします

プチバンの特徴であるくさび形のステンレス粒により、皮膚に直接に指圧と同様に神経を刺激することができます。血管及び筋肉をほぐしていきま

す。その結果、血行を促進し筋肉をほぐしていくことができます。

また、リンパを刺激し血行を促進することができ、むくみ等をとることができます。日頃悩んでいる肩こり、腰痛、筋肉痛など以外にも疲れや身体の痛い部分などに貼ることで効いてきます。



痛みなく、安心です

鍼灸師の鍼治療と同じレベルの効果をもたらします。皮膚に刺さないの、痛みもなく、消毒の必要もありません。衛生面で不安がなく、安心です。一般医療機器の許可を取得しています。

プロも使用

数多くの医院、鍼灸師、スポーツインストラクター、エステティシャンで1975年から約50年の使用実績があります。

<使用した時の声>

「老若男女どなたに貼っても簡単に症状が緩和され

るところがよい」(鍼灸師)

「磁気を帯びたものではないので、電子機器への影響が少ない」(スポーツトレーナー)

「長時間無理な体勢で首や手が痛い時に、貼るだけでコリを和らげる」(歯科医師)

「色々試してみたが、自分に合っているようですすぐ肩コリが楽になる」(会社員)

などの声が寄せられています。

こんな時にご使用ください

「日常生活の中での全身のコリ」でお困りの場合。貼ることにより、そのコリを和らげることができます。貼ってすぐ痛みが緩和。即効性が魅力です(首、肩、腰の痛みなどに)。

「スポーツ」の前に貼ると筋肉疲労が軽減、運動後の疲労のアフターケアにもなります。肩の可動域などパフォーマンス力がアップします。エクササイズ全般の動作向上、筋肉トレーニング時の怪我防止、体幹力向上、リラックス効果、サッカー、陸上競技、バスケ、バレーなどで多く発症する「シンスプリント」という故障の予防や治療にも役に立ちます。

「美容」フェイスラインがすっきりします。20分程貼るだけで変化を感じとれます。

など、セルフケアができます。子どもから大人まで年齢を問わず使えます。貼る時間は皮膚の弱い人は30分から2時間でもOKです。肩や腰などでは半日ごとに貼り替えるとよいです。3~4日貼り続けた場合、皮膚が傷つきますのでご注意ください。具体的な貼り方はオルターカタログP2~3をご覧ください。

貼るポイント

- (1) コリを感じる場所。指の腹で押して一番コリを感じるポイントに貼ってください。
- (2) 貼るときは左右対称に貼ってバランスを取ってください。(例：右肩のコリに1枚貼った場合は、左肩の同じ場所にもう1枚貼る)
- (3) 同じ場所に集中して何粒も貼るのは控えてください。違和感がある場合は剥がしてください。
- (4) 貼ってコリが和らがない場合は場所を少し変えて貼り直してください。
- (5) 貼る時間は2時間~最大12時間です。(顔だけは20分で外してください)
- (6) コリが和らいだら、剥がしてください。

貼るのを避けるポイント

- (1) 骨の上
- (2) 外部の圧力が加わると痛みを感じる場所(例：足の裏やベルトのあたる所)

使用上の注意

- (1) 肌を清潔にしてからご使用ください。
- (2) 単回使用です。
- (3) 長時間の使用は控えてください。目安は12時間です。慣れで効果が減ります。
- (4) 肌に異常を感じた時は、使用を中止してください。
- (5) 貼付のまま、入浴はしないでください。
- (6) 医師の治療を受けている方は、専門医にご相談の上ご使用ください。
- (7) お子様の手が届かないところに保管してください。
- (8) 高温多湿を避けて保管ください。
- (9) 皮膚にアレルギーがある方や妊婦の方、及び幼児はかかりつけの医師にご相談ください。

オルターオンラインセミナーで 使い方講習を行います

鍼灸師など東洋医学の「経穴・ツボ」「圧痛点(良導点)」をよく知っている人のアドバイスがあれば、的確に使用することができます。

オルターでも使い方講習を行います。このセミナーを当日視聴できなかった方には、後日オルターWeb会員サイトでご視聴できるようにいたします。

開発のきっかけ

プチバンの発明は、電気製品の開発会社である和光電研(株) 創業者、林隆一さんによるものです。取引先より「ツボを発見する機器の開発委託を受けた」事がきっかけでした。

そのツボ探索機が3年かけて開発を完了し、その原理を利用して、直接肌に触れ、刺激を与えることでよりツボを刺激することができるものではないかということに着手され、ようやく完成したのが、「刺さない鍼」(ロイヤルトップ)でした。特異な構造をしたステンレス粒にし、直接肌に刺激を与えることで筋肉をほぐしていく画期的な製品となりました。即効性があり、以来、鍼灸師などプロの有資格者のファンができました。

その後2011年に一般販売ができる「圧指プチバン」ができたのです。

